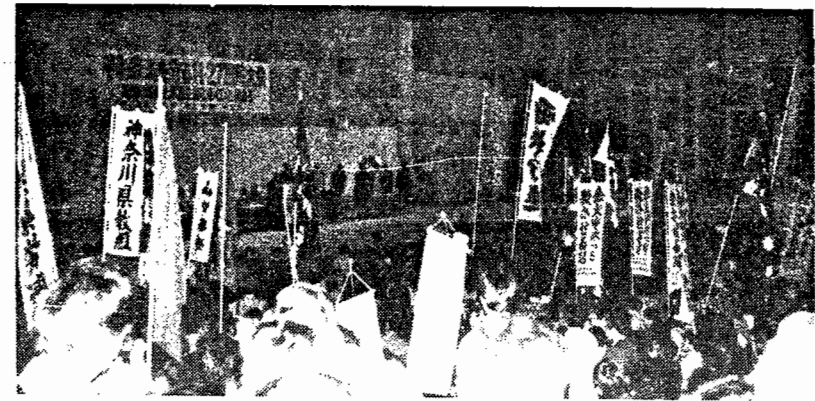


憲法改悪阻止

11.27集会 開催さる



11月27日、総評・護憲連合等の主催による「憲法改悪阻止国民大会」が日比谷野外音楽堂で開催された。動労千葉は、折からの初四回定期大会（26、28）のさなか、青年部を軸とした全支部からの代表35名が参加し、「改憲阻止・日帝の軍事大国化粉碎—8/3ジェット決戦へ—」の横断幕を高々とかけ、総評・千葉県労連傘下の労作者と固いスクラムを組んで最後まで叫びぬいた。

桜内（自民党幹事長）奥野（法務大臣）の挑発的発言をよび水に、全面的な改憲攻恵にうつって出た政府・自民党

政府・自民党は今日、改憲攻撃を頂点として全面的な軍事大国化・反動化の攻撃を激化させている。

の宗教活動の禁止は疑問、靖国参拝は合憲」と挑発的な改憲発言がくりかえされ、集約的に、このほど8年ぶりに憲法調査会（瀬戸山会長）は

8/3ジェット決戦と固く結合し改憲阻止へ！

8月19日桜内自民党幹事長が「現行憲法には欠陥がある。オ9条（戦争放棄条項）を含め改正すべき」と口火を切り、これをうけた奥野法務大臣が8月27日衆院法務委員会で「現行憲法は占領軍の指示で制定されたものであり、自主憲法とは言いがたい」と公然と改憲運動をおし進めることを言明した。

このような中で開かれた11.27集会は、戦後の一切の既得権を剥奪し、圧政と戦争を強制しようとするこの攻撃に対し、労作者の怒りが大きく蓄積されていることを鮮明に示すように、会場は全国から結集した労作者2万5千名であふれ会場外でも集会がもたれるにまで至った。

動労千葉は、オ四回大会で鮮明にうち出された「改憲攻撃を頂点とする軍事大国化攻撃と対決し、三里塚

「本部反動分子—革マルの敵対を粉碎



12/7

ジェット延長阻止
動労千葉支援

現地集会

主催・反対同盟
正午・岩山小学校
現地へ全力結集

この日、動労千葉の登場に焦った「本部」反動分子は今井（教）中村（修）を先頭に革マル学生とおぼしき正体不明の輩を使って、会場入口にバリケードを張り、千葉を入るな」と叫んでなぐりかかるなどのけちな敵対にうつたえたのであるが、われわれのきこえた姿勢の前に粉碎され、おぼしき正体不明の輩を果敢と弾劾され、その破産的セクトの本質を満天下にさらけ出し、コンコンと姿を消していった。我々は最後まで叫びを

日刊 動労千葉

80.12.1
No. 595

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）品三二七二〇七